

きりゅう 市議会だより

平成20年5月1日

No.209



チューリップの絵、上手に描いたよ（吾妻公園）

平成20年第1回定例会は、2月28日（木）に招集され、3月21日（金）までの23日間の会期で開かれました。

この定例会では、市長提出議案44件の審議を行い、それぞれ可決・同意しました。

また、議員提出議案3件の審議も行い、それぞれ可決しました。

主な掲載記事

- 一般質問を22議員が行う…………… 2～5
- 平成20年度予算を可決…………… 6～7
- CO2排出削減に関する決議…………… 8
- 議員の報酬を引き下げ…………… 8

一般質問

質問者

津布久博人（日本共産党）
 田島河原井東田谷藤井野石星小福庭森岡西笹坂井福相中
 久島井東田谷藤井野石星小福庭森岡西笹坂井福相中
 博忠 達照淳昌幸秀定芳光由享信一乗俊平彦一文蔵
 人 一始夫二二弘雄子利江雄紀大郎乗俊平彦一文蔵
 （日本共産党）（愛・桐生）（クラブ21）（愛・桐生）（公明クラブ）（愛・桐生）（クラブ21）（愛・桐生）（友和会）（愛・桐生）（クラブ21）（愛・桐生）（友和会）（日本共産党）（愛・桐生）（クラブ21）（愛・桐生）（友和会）（日本共産党）（愛・桐生）（クラブ21）（愛・桐生）（友和会）（日本共産党）

3月18日(火)・19日(水)・21日(金)の3日間にわたり、22人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたる問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の後のカッコ内は所属党派名

中央中運動部の練習場

津布久 博人（日本共産党）

質問 運動部や部員の急増により中央中の施設だけ

（中央中学校）



では練習場所が間に合わず、一部の運動部が旧西中や旧南中へ移動せざるを得なくなるのではないかと、また、そのことが昭和の早期廃校・明け渡しを求める動機の一つになるのではないかと、中央中は校庭も屋内運動場も学校規模に合わせた必要面積を満たしている。部活動は基本的には学校敷地内で顧問教師の指導のもとに行うものであり、限られた施設で効果的な練習成果を得られるよう、顧問や体育主任がこれから調整していくものと思われる。

介護予防施策

田島 忠一（愛・桐生）

質問 介護予防には、どのような施策があるか。

答弁 在宅介護支援センターによる転倒骨折予防教室、桐生栄養士会などの協力を得て栄養改善事業、群馬県歯科衛生士会と桐生市歯科医師会による口腔ケア事業などの講義・実習、介護予防サポーター養成研修や普及啓発を図る講演会を公民館などで実施している。

質問 どのような市民層に周知したいのか。

答弁 広報きりゅうや公民館だよりを通じて周知を図っていくが、特に高齢者に参加を呼びかけていきたいと考えている。



（在宅介護支援センター）

地方の元気再生事業

河原井 始（クラブ21）

質問 地方の元気再生事業についての取組み状況はどうか。

答弁 平成二十年度に、

地域の住民や民間団体の創意工夫、発想を起点にしたプロジェクトを、立ち上がり段階において支援する新たな取組みとして創設される事業で、具体的な支援や予算措置などについては国や県から示されていないが、地方再生戦略の中での省庁横断・施策横断の主な取組

ごみの収集について

新井 達夫（愛・桐生）

質問 ごみ収集袋の統一と分別方法の徹底はどうか。

答弁 ごみ袋は桐生地区

が透明又は白の半透明、新里・黒保根地区が記名式の指定袋となっているが、桐生市ごみ減量化推進協議会を通じ団体に依頼したアンケート結果を参考に早期に統一したい。分別は燃えるごみ、燃えないごみ、再生资源、粗大ごみの四分別十五品目で、その仕方を記載した「ごみと資源の収集力

レンドア」の每户配布、減量化教室、出前講座、広報きりゅうなどでお願いしているが、今後も機会をとらえて周知徹底を図りたい。

（パッカー車）



桐生市消防団

周東 照二（公明クラブ）

質問 消防団員の確保対策はどうか。

答弁 全国的に消防団員が減少し、桐生市でも定員割れしているが、四月から新たに女性の入団も予定されており、団員の確保の対応策を進め、努力したい。

質問 消防団協力事業所表示制度の導入はどうか。

答弁 消防団員の就業形態が大きく変化し、被雇用化率が增大している。今後団員の確保や活動環境の整

（水防訓練）



備に向けて、事業所などとの協力体制の構築が必要であり、地域防災力の更なる充実を図るためにも同制度の導入を検討していきたい。

にいきと新能

佐藤 幸雄（愛・桐生）

質問 新里の文化として定着した「にいきと新能」

（山上城跡公園）



について、新里町での開催と伝統文化としての位置付けをどう認識しているのか。また、新年度予算編成時どのような検討がされたか。

答弁 歴史ある新里町山上城跡公園で行われるにいきと新能は、小雨でも開催が困難など課題もあるので、会場について総合的に検討したい。また、新能開演前に専門員による解説を行い、来場者に伝統文化を楽しみ、伝承してもらえよう配慮している。なお、新年度予算は、多角的に検討して今回の予算措置となった。

観光交流課について

小野田 淳二（愛・桐生）

質問 「観光交流課」新設の目的と取り組む姿勢。

（観光交流課）



方針はどのようなものか。

答弁 マニフェストの緊急政策を具現化するための組織で、桐生の歴史を生かしながら、まちの活性化を図り、桐生の再出発の基にしていきたいと考えている。

質問 観光協会や周辺の観光地域との連携はどうか。

答弁 観光協会については、密接な連携のもと観光事業の推進に努めたい。周辺地域との連携は、みどり市との交流事業を通じて、観光資源を把握し、相互に情報発信に努めていく方針で準備をしている。

市役所体制の再編

石井 秀子（友和会）

質問 新組織機構が効率よく効果的に機能するため、職員の能力を発揮できる適材適所をどう考えているか。

答弁 新組織機構に伴う職員の配置は、職員が与えられた職務を的確に、やる気を起こして仕事に従事できるように人事配置に心掛けるとともに、職員の知識、能力、経験及び適正など総合的に判断して、実力が十分に発揮できるよう、適材適所の配置に努めたい。ま

た、それぞれの職員が垣根を越えて協力し、チャレンジ精神と市民に対する奉仕の精神を基本とした組織づくりに努めたい。

（桐生市役所）



桐生川へアユ釣客を誘致

細谷 昌弘（クラブ21）

質問 桐生川へのアユ放流の効果と天然遡上の状況

（桐生川）



はどうか。

答弁 桐生川には琵琶湖産稚魚を放流してきたが、成果が見られないので、福島県産稚魚により川の復活を期待したい。また、遡上については、取水堰に魚道がないため確認ができていないが、研究していきたい。

質問 アユ釣り市長杯の実施についてどう考えるか。

答弁 大会の開催については、民間主体のイベントとして実施できるよう研究していきたい。市としては、後援を行う用意と市長賞についての検討を考えたい。

職員改革

星野 定利（愛・桐生）

質問 職場における朝礼について、現在どのように実施されているのか。

答弁 朝礼は、職員同士の目標・情報の共有化、組織の一体感を生み出すための非常に重要な要素と考えている。また、全職場ではないが、各職場の判断により実施している職場もある。

質問 全職場において、毎日の朝礼を徹底させる考えはあるか。

答弁 毎日の朝礼の実施

については、必要性は十分認識しているが、各職場では、随時朝礼の趣旨に沿った報告・連絡などにより目標・情報の共有化を図っている。

（朝礼の様子）



入札制度

小滝 芳江（クラブ21）

質問 現在の入札制度はどのようなものか。

（桐生市役所）



答弁 現在の入札制度は入札の適正化を推進するため、予定価格の事前公表、最低制限価格の導入、市内業者や業者ランクなどを条件とした、条件付き一般競争入札などを実施している。

質問 条件の中に、企業として環境や男女平等施策の推進などを取り入れたり、変動型最低制限価格や事後審査型一般競争入札制度の導入について考えているか。

答弁 条件について、今後検討していきたい。また、変動型最低制限価格などの導入も十分検討したい。

工学部への支援

福田 光雄（愛・桐生）

質問 群馬大学工学部の市外移転はないか。また、

（群馬大学工学部）



工学部への支援や市内にあることの経済効果はどうか。

答弁 工学部は、これまでの産学官連携が高く評価され、施設整備や建物の耐震補強と全面改装をほぼ終えており、こうした経緯からも移転の動きはないと考えている。また、支援については、市有地を駐車場として提供、道路照明灯の設置、会議などに対し市民文化会館の無料解放などを行っている。なお、経済効果は大手企業と同等かそれ以上あるといわれており、今後も支援強化に努めたい。

学校の跡地利用

庭山 由紀（薫風会）

質問 身体障害者センターを南中学校跡地に移すのは、施設の老朽化が理由か。

答弁 身体障害者センターは、旧桐生女子高校の建物を改修したもので、建物全体の老朽化が激しく、耐震性も大変低く、安全な施設への移設が急務である。

質問 移設に関して、新生総合計画における位置付け及びコスト計算はどうか。

答弁 ノーマライゼーションの実現を計画の理念とし、移設は各種施策実現のための環境整備と考えている。なお、合併特例債により事業を行うが、福祉サービスのコスト計算は難しい。



（旧南中学校）

交通安全施設整備

森山 享大（愛・桐生）

質問 岡登緑道沿いの市道は、歩道の無い区間があるなど、天沼小学校では危険箇所と指摘されているが、歩道整備の考えはあるのか。

答弁 岡登緑道沿いの市道は、交通量も多く天沼小学校の通学路でもあるため、再三歩道整備の要望があり、このため、平成十六年度から歩道整備を進め、現在百三十メートル区間の整備は完了した。なお、歩道の無い区間については、一部が

（岡登緑道沿いの市道）



岡登緑道にかかっていることから、緑道を管理する岡登壇土地改良区とも協議し許可が得られれば整備していきたい。

伝統的建造物群保存地区

岡部 信一郎（クラブ21）

質問 本町一・二丁目において、伝統的建造物群保

（本町通り）



存地区の指定を目指すにあたり、その利点は何か。

答弁 指定を受ける利点は、保存条例に基づき、伝統的建造物の外観保存などを目的として修理を行う場合、助成を受けられるほか、建築時における緩和措置や税制面でも利点がある。

質問 指定に向けた課題は何か。

答弁 保存条例の制定や道路などのほか、地域の人の主体性をもつたまちづくり活動の参加が課題であるが、相互の連携を密にして具現化に努力していきたい。

幼稚園について

西牧 秀乗（友和会）

質問 市立幼稚園の園児数及び、園の統合の基本的

（天沼幼稚園）



な考え方はどうか。

答弁 平成十九年四月現在では、十四園で三百四十六人であり、市民の多くの意見や地域バランスを加味して、四園に統合する当初案から七園とする案とした。

質問 地域性だけを考えると、園児数の多い天沼幼稚園を廃園にするのは問題がある。存続の要望について、どのように検討するのか。

答弁 天沼幼稚園を存続させる要望については子供の教育を一番に考え、様々な意見を踏まえて総合的に判断していきたい。

多重債務問題

笹井 重俊（日本共産党）

質問 多重債務問題について、市民生活を再建するという視点から、庁内の連携は取れているか。

答弁 桐生市の多重債務者相談は、消費生活センターで対応している。国保や税務、福祉部門との連携は、個人情報など難しい点もあるが、関係部局と連携して救済措置を行うことは、行政運営にもメリットがある。

質問 多重債務問題が解決できれば、優良な納税者

になれるのではないかと

答弁 多重債務の解消は滞納対策につながるかと考え、多重債務者への無料法律相談の紹介などを行っている。

（消費生活センター）



都市整備

福島 賢一（愛・桐生）

質問 中通り大橋線の太田数塚インターへの延伸に（中通り大橋線）



向け、県道昇格を視野に取れる考えなど、具体的な取り組みはどうか。

答弁 中通り大橋線は、都市計画マスタープランにおいて、太田数塚インターへのアクセス道路として桐生大橋線と併せ、延伸ルートとしての位置付けを行っている。なお、延伸ルートは広域に渡る道路となるため、隣接する太田市に、現在改正中の「太田市の都市計画マスタープラン」に位置付けていただくなど、関係機関と連携し、取り組んでいきたい。

新里町の道路改良

坂田 和平（愛・桐生）

質問 主要地方道前橋大間々桐生線の新里地区主要交差点の改良工事の見通しは、どのようなものか。

答弁 上電踏切手前から宿交差点までの歩道整備は、県の事業で進められ、平成十九年度で一部を残して事業完了予定である。また、新川交差点は、県との工事施工協定事業で渋滞解消を目的に、平成二十年度完成を目指している。小林交差点についても県事業である

（前橋大間々桐生線）



が、地元説明会を開催して、現地測量を実施しており、平成二十年度から事業採択を受け、渋滞解消に向けて県と協調して推進したい。

産学官

相沢 崇文（クラブ21）

質問 インキュベーション・オフィスの入居状況（インキュベーションオフィス）



どは、どうなっているのか。

答弁 本町五丁目東武本町ビルの十六室を借り受け、現時点では六室の入居のほか、二室入居予定である。施設の月額賃料は、二階が七十二万七千六百五十円、三階が百五万円である。

質問 今後の課題や賃料を安くするために空き店舗活用など考えているか。

答弁 入居率の向上や入居者の活動支援など、関係機関と緊密な連携を図っていきたい。なお、空き店舗活用により賃料は若干安くなるが、改装費がかかる。

ごみ袋の統一

井田 泰彦（クラブ21）

質問 新里、黒保根地区のごみ袋を、桐生地区の指（ごみ袋）



定ごみ袋に統一して、料金差の解消ができないか。

答弁 ごみ袋の統一は、現在早急に検討している。地球温暖化防止や、ごみ減量のためにも記名式ごみ袋は必要であるが、現在アンケート調査を実施しており、この結果を踏まえて、実施していきたい。また、みどり市との連携推進会議の中でも統一に向けて協議を進めるとともに、同じ袋にすることにより価格を下げるなどの研究をしており、市内の価格の差についても早めに解消していきたい。

長寿センターの改善

中田 米蔵（日本共産党）

質問 長寿センター使用料有料化後の利用状況及び今後の対応策はどうか。

答弁 長寿センターは、桐生市社会福祉協議会に土地建物を無償貸与し、民営施設として運営されている。使用料有料化後の市内各施設の合計では、六十六・六パーセントの利用減となっている。今後は、平成二十年度から一人暮らしの高齢者に無料で使用できるように検討し、介護予防サ

（長寿センター）



ポーターボランティアの協力を得て、社会福祉協議会と連携して各種事業の展開を図り、利用増に結びつく施策を考えたい。

平成20年度

予算を可決



市議会本会議

予算編成及び 行財政改革 については

平成二十年度の市税収入が約五億五千万円の減収と見込まれる中、職員給与の削減などにより歳出を抑制する一方で、子育て都市の実現に向けた諸施策の充実をはじめ、市民ニーズを最大限盛り込んだ予算編成となっている。

厳しい財政状況の中、これまで、職員人件費の削減や公立保育園の民営化、市ホームページへのパナー広告掲載による税外収入の確保などの行財政改革を実施してきたが、今後も着実に「桐生市行財政改革方針」に基づき、行財政改革を進め、行財政運営の健全化に

平成20年度一般会計予算及び水道事業会計予算は、それぞれ賛成多数で可決しました。14事業の特別会計予算についても賛成多数で可決しました。

なお、平成20年度予算を可決するにあたっては、各会派代表の議員（5人）が総括質疑を行うとともに、予算特別委員会（委員16人で構成）を設置し、2日間にわたり、慎重に審査を行いました。総括質疑における、主な質疑に対する市当局の答弁は、次のとおりです。

災害時要援護者 支援対策 については

努めていきたい。

現在、桐生市の支援対策の骨子となる要綱を作成しているところであり、平成二十年度には高齢者、障害者、要介護者などの情報を一元的に管理できるシステムを構築し、災害時要援護者の要件に該当する対象者を把握し、市内各地区の民生委員、さらには、自主防災組織や町会なども連携しながら、きめ細かな支援体制を確立していきたい。

地球温暖化対策 については

地球温暖化対策として国

市民協働による まちづくり施策 については

厳しい財政状況の中、多様な市民ニーズに対応するために、みずからの理念に基づき活動する自治会組織やNPOなどの市民活動団体への業務委託など、市民協働によるまちづくり施策の充実や拡大がたいへん重要となっている。

平成二十年度には、市民と行政との協働による環境美化活動として「きれいにしようよ桐生」事業を新たにスタートさせる。

こどもを生き、 育てやすい環境 については

平成十九年十月から開始し、市民に好評の「すこやか児童手当」について、よ

不妊治療助成 については

少子化対策の一環として不妊治療を行っている夫婦の経済的負担軽減のために平成二十年度から不妊治療に要する医療費の一部について、市から助成を行うもので、指定された医療機関で行う体外受精や顕微授精などの特定不妊治療及びその他の保険医療機関で行う不妊の検査や処置及びホルモン治療などの一般不妊治療が助成の対象となる。助成額は、不妊治療に関わる保険診療の一部負担及び保険適応外医療費の年間負担額の二分の一相当額で、十

万円を上限とする。

工業団地の整備 については

合併後の地域特性を生かしたまちづくりを目的に設置した工場適地・定住促進等調査研究プロジェクトの調査をもとに工場適地として選定した黒保根町の一箇所及び新里町の五箇所のうち、新里町の武井工業団地周辺西地区については、県の企業局と連携しながら、事業化に向けて地権者との協議を始めたところである。

また、新里町の板橋上赤坂工場適地についても現在、造成計画の見直しを行っているところで、それが済んだ後、開発許可を取得し、造成に着手したいと考えて

両国橋の整備 については

平成十九年度末に新橋が竣工することとなっており、供用開始に向け、警察とも協議を重ねながら、利用者



(両国橋)

賛成討論

厳しい経済情勢が続き、ゼロベースでの予算編成という財政運営の中、中通り大橋線整備や統合中学校整備、新里地区複合施設建設、小学校施設耐震改修及び大規模改修、(仮称)総合福祉センター整備など大型事業のほか、多様化・高度化する要望や要求の中、子育てに力点を置き、子供医療費助成拡大、みどり市と同一歩調で実施するしあわせ妊婦健康診査の拡充など大いに評価できる。また、北関東産官学研究会事業や工業・農業施策、地域の活性化施策など期待できる。なお、将来に負担を残さない効率的な行財政運営を行い、自然環境や地域性を生かした桐生市の活性化を願う。

いる。

の安全対策に取り組みんでいるところである。

なお、この橋が完成すると、かねてからの懸案であった旧道の無堤防区間に国土交通省により堤防が構築されることとなり、周辺における浸水の危険性が解消されるとともに菱町と境野町間の通行が円滑となることにより、地域の利便性の向上や活性化につながるものと考えている。

中央中学校の 運営方針 については

中央中学校開校にあたっては、学習、部活動や学校行事などにおける活力の向上や教科指導の充実など、適正規模になることによる



(中央中学校)

メリットを最大限に生かしながら、生徒、保護者や地域の期待にこたえられる学校運営に努めるとともに、通学が遠距離となることなどによる生徒や保護者の不安が生じることのないよう最大限の支援を行っていく考えである。

反対討論

医療費適性化や財政健全化を名目とした住民犠牲の行革が、国から押し付けられている中、新年度予算は、子供医療費助成拡大や妊婦検診など子育て日本一を目指す各施策、価格高騰の中での学校給食費の据え置き、中通り大橋線総事業費の削減など評価すべき点もあるが、生活や福祉、教育のための予算の捻出という考えが欠落している。後期高齢者医療制度への対応や国保税の増税、厚生病院への負担金削減、人件費削減など住民福祉の増進を使命とした姿勢は見られず、地方自治体の姿勢、学校統廃合とその跡地利用や子育て支援センター、高齢者の介護や福祉の施策など課題も多く、賛成できない。

主な議案

市長、副市長及び教育長の給料の特例に関する条例の一部を改正する条例案

可決

概要

厳しい社会情勢のもと、市財政の再建に向けた決意を表すため、市長、副市長及び教育長については、平成十六年度以降毎年、給料月額百分の五を減額していたが、更なる給料の減額が必要であると考え、平成二十年四月一日から一年間の時限措置として、給料月額の百分の十を減額しようとするもの。

一般職の給料の特例に関する条例案

可決

概要

市の厳しい財政状況を踏まえ、平成二十年四月一日から一年間の時限措置として、若年層を除く一般職の

職員の給料を削減しようとするもの。

桐生市ふるさと探訪ふれあい館の設置及び管理に関する条例案

可決

概要

桐生市に移住しようとする人や自然体験などをしようとする人に低廉な価格で泊まれる短期滞在型の宿泊施設を提供するとともに、市民などの交流の場としても使用できる施設を設置するため、条例案を制定しようとするもの。なお、この施設は黒保根町水沼地区に設置するもので、平成八年まで黒保根小・中学校の寄宿舎として使用していた建物の一部改修して転用しようとするもの。





(天然ガス車)

決 議

この定例会では、市民、企業、行政などが一体となって、互いに連携してCO₂削減を図るため、次のとおり決議案が議員により提出され、全員賛成で決し、「CO₂排出削減都市」を宣言しました。

CO₂排出削減に関する決議

現在進行している様々な地球環境の悪化には、人類のみならず、共存しているあらゆる生物、そして、地球そのものの将来に大きな不安を与えるものとなっている。

その現象と要因は様々あるが、その中に我々の生活行動に起因するCO₂の排出による環境悪化がある。

桐生市は自然環境に恵まれた潤いのあるまちである。この自然環境の悪化を防ぎ、将来に引き継ぐことは現在を生きる私たちの大きな責務である。

本市議会は、市民、企業、行政などが一体となって互いに連携を深め、CO₂削減に取り組む必要があると考える。

よって、ここに「CO₂排出削減都市」を宣言する。

以上、決議する。

平成 20年 3月17日

桐 生 市 議 会

議会の議員の報酬の特例に 関する条例の一部を 改正する条例案を可決

厳しい社会経済情勢のもと、市財政の再建に向けた決意をあらわすため、議員の報酬について、平成十七年度以降毎年報酬月額百分の五を減額してきました。平成二十年度も、同様の趣旨から報酬月額の百分の五減額することを、平成十九年十二月定例会において、全員賛成で可決しましたが、今回の定例会で、市の財政状況などをあらためて勘案したとき、更なる減額が必要と考え、平成二十年四月

一日から一年間の時限措置として減額する報酬月額に百分の五を上乗せし、十二月定例会可決分とあわせて議員の報酬月額の百分の十を減額しようとするものです。審議の結果、全員賛成で可決しました。

条例施行日

平成二十年四月一日

人権擁護委員

金子好雄氏
(再任)

教育委員会委員

前原勝氏
(新任)

人事案件

請願の審査結果

この定例会では、請願5件の審査を行い、その結果1件は不採択、4件は閉会中の継続審査となり、提出者から請願1件取り下げがありました。

◎不採択となった請願

付託委員会	受理番号	件名
教育民生委員会	第8号	「後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める意見書」提出についての請願

◎閉会中の継続審査となった請願

付託委員会	受理番号	件名
総務委員会	第10号	中国人強制連行・強制労働に対する救済施策を求める請願
	第11号	中国の平頂山事件被害者への謝罪を求める請願
産業経済委員会	第5号	日豪をはじめとするEPA路線を転換し、自給率の向上と食糧主義にもとづく農政を求める請願
教育民生委員会	第6号	全額国庫負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める請願

◎取り下げとなった請願
請願第9号…新里中央小学校内の放課後児童クラブ施設の設置場所の見直しをもとめる請願

お知らせ ◆次回定例会の開催予定は
6月5日(木)です。

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部(要旨)を掲載しています。詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。平成20年第1回定例会の会議録は、6月上旬からご覧になれます。なお、会議録は桐生市ホームページでもご覧いただけます。

再生紙を使用しています。